

かかりつけの医師と精神科医の連携に関するアンケート(かかりつけの医師用)

質問		選択肢		
問1	専門診療科をお答えください。	()科		
問2	「かかりつけの医師と精神科医の連携の手引き」を知っていますか。	知っている ・ 知らない		
問3	うつ病等精神障害がある(疑われる)患者を診察した場合、精神科医に情報提供したことがありますか(「手引き」の活用の有無を問いません。)	有 → A 及び C (問4～問7、問10～問11)へ 無 → B 及び C (問8～問11)へ		
A 精神科医に情報提供を行っている医療機関(問4～問7)				
質問		選択肢		
問4	その精神科医(精神科病院)に情報提供する理由は何ですか(複数回答可)。	ア 以前から知っている	イ 近隣にある	ウ 患者が希望する
		エ 速やかに受診してくれる	オ 「かかりつけの医師と精神科医の連携のための研修会」で知り合った	カ その他()
問5	精神科医に情報提供する上で、次のような困難を感じることはありますか(複数回答可)。ある場合、具体的なケースを枠内に(可能な範囲で)記入してください。	ア 精神の症状や疾患に関する情報が少なく、情報提供すべきかどうか判断に迷う イ 自院で部分的に治療可能であるが、情報提供する場合、どこまで治療すべきか迷う ウ 精神科医に情報提供しても、予約がとりにくい()日以上かかる) エ 情報提供できる精神科医がなく、患者との調整に苦慮する オ 患者の精神症状が重く、情報提供する前の身体の治療が円滑に行えない 【ケース】		
問6	これまで精神科医に情報提供した中で、よくみられる症状は何ですか(情報提供書の様式にある症状を選択肢にしています。複数回答可)。	ア 興味・関心の喪失	イ 抑うつ気分・落ち込み	ウ 睡眠障害
		エ 疲労感	オ 食欲異常	カ 罪責感
		キ 集中力低下	ク イライラ・焦燥感	ケ 希死念慮
		コ その他()		
問7	これまで精神科医に情報提供した患者の中で、次のようなケースはありましたか。あるものに○を付けてください(複数回答可)。また、具体的な事例を枠内に(可能な範囲で)記入してください。	ア 患者の精神障害の症状が改善していた イ 患者の精神障害の症状に変化がみられない ウ 患者は精神科に通院していないようだ エ 患者が自殺を図ったことがある(自殺した) オ 希死念慮のあった(自殺企図のあった)患者が、自殺を思いとどまった カ 把握していない キ その他() 【事例】		

B		精神科医に情報提供を行っていない医療機関(問8～問9)	
質問		選択肢	
問8	情報提供を行っていない理由は何ですか(複数回答可)。	ア 「手引き」の存在を知らない イ 該当する患者がいない ウ 判断に迷い、結果的にこれまで情報提供することがなかった エ どの精神科医に情報提供してよいかわからない オ 精神科医への紹介方法がわからない カ 患者や家族等から拒否される キ 精神科医から拒否される(されたことがある) ク 精神科医の予約がとりにくい ケ 自院で治療が可能である コ その他()	
問9	精神科医療連携加算(1回200点)があることを御存じですか。	ア 知っている	イ 知らない
C		全医療機関(問10～問11)	
質問		選択肢	
問10	精神科医と連携するに当たり、効果的と思うことや希望することは何ですか。該当するもの3つまで○を付けてください。また、枠内に(可能な範囲で)意見を記入してください。	ア かかりつけの医師に対する「うつ病」対応力向上のための研修を行ってほしい イ 精神障害改善後の対応(職場復帰、認知症予防など)に関する研修を行ってほしい ウ 情報提供する前に、精神科医と個別に相談・情報交換できるシステムを構築してほしい エ 他の区や他の市町の精神科医の情報がほしい オ 情報提供した精神科医から、継続的に精神症状や疾患に関する情報を提供してほしい カ 精神科医との合同研修会、意見交換会等を定期的に行ってほしい キ 「手引き」に基づく情報提供を行った場合は、優先的に診療してほしい ク その他 【意見】	
問11	うつ病・自殺対策のため、医療機関の立場でどのような事業を行うことが有効だと思われますか。これまでの御経験等から自由に意見を記入してください。	【意見】	

「手引き」の送付を希望される場合、下記に連絡先を御記入ください。

住所 〒 _____
 医療機関名 _____ 電話番号 () _____

***** 御協力ありがとうございました *****

